5/16 [illegible]

防衛省新型ミサイル納入

1発約50億円

日米が共同開発した新型の弾道ミサイル迎撃弾「SM3ブロック2A」が、米政府が有償軍事援助（FMS）に基づき、防衛省に納入されたことが分かりました。海上自衛隊イージス艦のうち、「まや」「あたご」型に配備されます。

1発あたりの単価は公表されていませんが、米政府の資料などによると、1発約40億～50億円に達します。

防衛省はこれまでに取得費計1787億円の予算を計上しています。

日米は2006年度からブロック2Aの共同開発に着手。米側がレイセオン、日本側は三菱重工業が中心に開発を進めてきました。

迎撃高度は従来型の約2倍の1000キロ超とされ、通常角度より高い角度で撃つ「ロフテッド軌道」への対処能力も増します。昨年11月には海自イージス艦がハワイ沖で試験発射を行い、迎撃に成功したとしています。

ただ、試験ではあらかじめ標的の軌道が設定され、しかも単発です。実際には複数のミサイルによる飽和攻撃が想定されるため、すべての迎撃は不可能です。このため、政府は昨年末に決定した安保3文書で、「ミサイル防衛」と敵基地攻撃を一体化した「統合防空ミサイル防衛」（IAMD）の導入を決定。相手領域への先制攻撃を前提とした米国のIAMDとの一体化が狙われています。